

支部総会・講演会を開催しました

令和7年5月24日に広島県支部の総会・講演会を広島市総合福祉センターにて開催しました。

来賓として濱中喜晴先生（公立みつぎ総合病院保健福祉総合施設）、三井法真先生（広島県立病院心臓血管外科）、アボットメディカルジャパン田中様にご参加していただきました。



会員参加10名と一般参加3名があり、総勢16名となりました。机、椅子の配置、スクリーン、プロジェクターの設定等で会場設営に手間取り、センターの方に教えてもらいつつ30分かかりました。

支部長より昨年度の活動の振り返りと今年度の活動方針、会計報告、役員紹介を行い、出席者により承認されました。今年の活動計画では秋に岡山支部、山陰支部と合同で交流会を開催するべく計画を進めております。また、LINEメンバーが現在10名になったことで行事企画や意見交換が容易になったことを報告しました。

第二部として濱中先生より「ペースメーカー最近の話題」を演題としてご講演をして戴きました。予め会員より寄せられた質問に答える内容で判り易く説明して戴きました。

始めに広島県支部の発足から関わっておられる濱中先生より支部の歴史を紹介して戴いたことが非常に新鮮であり、平成14年から連綿と続いてきた繋がりがあって今に至ることを理解することが出来ました。高齢化の進行で支部会員34

名（令和7年5月時点）で平均年齢80.0歳となりますが、今後も途切れることなく会が存続していくよう努力したいと思います。

ハプニングとして、一般参加の方2名が会場を間違って昨年総会を開いた南区福祉センターへ行ってしまう、タクシーで駆けつけてくれて講演には間に合いました。最後に参加者全員マスク無しの笑顔で集合写真を撮ることが出来て良かったです。

